

# 成田市教育委員会会議事録

令和7年12月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和7年12月16日 開会：午後3時00分 閉会：午後3時40分

会 場 成田市役所3階 第二応接室

## 教育長及び出席委員

教 育 長	日 暮 美智子
委 員	高 山 勇
委 員	佐 藤 勲
委 員	岡 本 秀彦
委 員	磯 部 祐子

## 出席職員

教育部長	松 島 真 弓
教育部参事	藤 崎 清
教育総務課長	高 仲 浩 一
学校施設課長	大須賀 一 夫
学務課長	井 上 功太郎
教育指導課長	西 崎 祐 一
生涯学習課長	神 崎 裕 一
学校給食センター所長	福 島 由 規
公民館長	菅 井 良 江
図書館長	飯 田 幸 治
教育総務課長補佐（書記）	森 一 朗

傍聴人：0人

## 1. 教育長開会宣言

## 2. 署名委員の指名 高山委員、磯部委員

## 3. 前回議事録の承認

## 4. 教育長報告

### 主催事業等

#### ○12月11日・12日 教育長・校長人事面接（一次）について

年度末の人事異動について、各学校の校長先生方の異動構想、学校の課題等をお聞きしました。どの学校も大変よく構想が練られておりました。課題として、特別支援教育の推進役となる職員の必要性、教務主任や学年主任など学校の核となる教員について計画的な人事異動の必要性などが多く挙げられました。また、音楽専科教員を要望するが、年度途中で産休代替が配置されない場合に備え、学級担任もできる人材と話される校長先生も多く、人の配置が十分で無いことを改めて感じました。

今年度末は、役職定年を迎える校長先生方が多いことから、安定した学校運営や教育活動が維持できるよう進めていくよう、丁寧に人事事務を進めてまいりたいと思います。

#### ○12月15日 成田市学校栄養士研修会について

本市には成田市学校給食センター本所、3つの分所（玉造・下総・大栄）、5つの調理場（公津の杜中学校・本城小学校・公津の杜小学校・美郷台小学校・平成小学校）の計9つの施設があります。それぞれの施設で、日々安心安全な給食の提供を牽引してくださっている栄養士の先生方11名に出席いただきました。

各施設の設備や人的面での状況、食に関する教育、なりたの5つ星給食レストランへの取り組み等についてお話しいただき、学校給食センター所長をはじめとした教育委員会事務局からは施設面や人的面で提供できる情報をお伝えしました。

また、産業まつりに出展した様子を、本城小学校の栄養士の先生が発表しました。催しでは、調理員さんたちのユニホームを子どもサイズに作り試着コーナーを設けたり、献立やレシピの

紹介をしたりしてくださり、成田の給食について市民に知っていただくという熱い気持ちが感じられました。

## 市議会

○11月28日～12月17日 令和7年12月定例会について

今議会に教育委員会から提案した議案は、「成田市学校給食センター建設工事（外構工事）請負契約の締結について」、「成田市学校給食センター建設工事（機械設備工事）請負契約の変更について」、「市有財産の取得について（給食用食器等）」、「市有財産の取得について（給食用食缶）」の4件でした。

また、一般質問では4名の議員から質問を受け、それぞれ担当課で丁寧に調査し、答弁書を作成していただきました。「学校給食の無料化」につきましては、市長の公約の観点からのご質問でしたので、市長答弁となり、私からは「部活動の地域展開について」、「文化財保存活用地域計画策定事業について」、「ネット出席について」、「修学旅行について」、「学力調査の結果について」について答弁いたしました。

○12月10日 教育民生常任委員会

今議会に教育委員会から提案していた議題、「成田市学校給食センター建設工事（外構工事）」を含む議案4件について審査していただき、全会一致可決すべきものと決していただきました。

所管事務調査として4件、「成田市教育振興基本計画（素案）について」、「教育に関する事務の点検及び評価について」、「成田小学校改築事業について」、「部活動地域展開における受益者負担額と実施クラブ数等について」を報告させていただき、委員の皆様からご質問やご意見をいただきました。

## その他

○11月27日 千葉県教育庁北総教育事務所指導室訪問について（中台小）

7学級で授業が展開され、国語、社会、算数、理科、道徳、特別支援に係る研修が行われました。学校経営部会では、校長より学力向上の取り組みについての的確な説明がなされ、その後

の北総教育事務所指導室長からのご指導の中では、全国学力学習状況調査の捉え方についてのお話を伺い、大変勉強になりました。

佐藤委員、磯部委員にもご参加いただきました。

○12月6日 一般社団法人成田市スポーツ協会創立70周年記念式典・祝賀会について

成田市スポーツ協会が昭和30年の発足以来、創立70周年という節目の記念式典が開催され、これまで貢献された成田山新勝寺及び歴代会長2名に感謝状が贈られました。また、本協会に加盟するアマチュアゴルフ協会、家庭婦人バレーボール連盟及び個人の部として空手道連盟の選手が、千葉県及び千葉県スポーツ協会等から表彰されたことから、祝賀会の運びとなりました。

本協会には、35の競技団体、5の地域団体が加盟されており、部活動の地域展開にもご尽力いただいている会員の皆様がいらっしゃることを申し添えます。

○12月7日 成田ウインドオーケストラ第1回定期演奏会について

令和6年5月に、成田市初の市民吹奏楽団として発足した成田ウインドオーケストラの記念すべき第1回定期演奏会に出席し、お祝いの言葉を述べさせていただきました。

三部構成で、第2部においては部活動地域展開のモデル事業として活動しているジュニアユースの生徒たちの演奏もあり、市内5中学校、1義務教育学校から29名の中学生が日頃の練習の成果を発揮しました。

○成田ユネスコ協会創立50周年記念式典について

成田ユネスコ協会は、昭和50年に設立され、50周年の節目の年を迎えるにあたり、式典及び祝賀会が開催され、教育部長、生涯学習課長とともに出席しました。

これまで、教育・科学・文化を通じて国際理解・国際協力のために様々な活動に取り組み、書き損じハガキキャンペーンの地道な活動が世界寺子屋運動の活動に活用されたり、成田市ユネスコ協会婦人部が企画・運営し、日本の伝統文化の一端を紹介する「日本の香りをあなたに」では、様々な文化交流体験の場を提供されたりしています。祝賀会の中で、合唱、お琴、茶道

のお点前、生け花、成田ウインドオーケストラの演奏が披露され、趣きのある会でした。

○12月8日 千葉県北総教育事務所令和7年度末人事異動構想情報交換について

北総教育事務所次長に来庁いただき、人事異動に係る情報交換を行いました。今年度は、小学校では6名の校長先生、中学校では2名の校長先生が役職定年を迎えられます。引き続き成田の学校が安定した学校経営がなされるよう、相談しながら進めてまいりたいと思います。

○12月13日 令和7年度印旛郡市社会教育振興大会について

生涯学習の推進と社会教育の充実のために、印旛郡市の社会教育委員及び社会教育関係者が一同に会する本振興大会は、今年度は八街市中央公民館で開催されました。

成田市からは社会教育委員、生涯学習推進協議会委員、公民館運営審議会委員、成田ユネスコ協会の方々、生涯大学院の講師など20名が出席しました。

社会教育功労者表彰では、本市関係者10名が表彰されました。印西市の事例提案、記念講演として、千葉黎明高校野球部総監督の荒井信久氏の「野球を愛し 野球に学ぶ」を伺い、充実した大会でした。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：中台小学校の学校訪問に参加しました。中台小学校は、大規模改修が終わり、学校全体が綺麗になっていることに加え、校長室や廊下の各所に花が飾られているなど、丁寧に学校を使っている様子が伺い知れました。このように素晴らしい環境で教育を行うことにより、子どもたちは落ち着いた学校生活を送っていけるのではないかと感銘を受けました。

磯部委員：私も中台小学校の学校訪問に参加しました。校内には花が飾られており、学校全体がとても明るく感じられ、気持ちの良い雰囲気でありました。ことばの教室では、マジックミラーを活用するなど、子どもたちが落ち着いて取り組めるよう、環境づくり

が工夫されていると感じました。

一方で、特別支援学級が作業室を挟んで隣同士に配置されていることから、隣の教室から聞こえてくる声に気を取られてしまい、自分の教室の先生の話に集中できない子どもも見受けられました。学校は既に子どもたちのために色々な工夫をされているとは思いますが、先生も素晴らしい授業をされていることから、教室の配置などの環境面において、さらに工夫できる余地があるのではないかと感じました。

## 5. 議 事

### (1) 議 案

議案第1号「令和7年度印旛地区教育委員会連絡協議会教育功労表彰者の推薦について」

《審議結果》

可 決

## 6. その他

西崎教育指導課長：令和7年6月24日開催の教育委員会会議報告第4号にてご説明いたしました「成田市校務DXの推進について」の、その後の進捗状況を報告させていただきます。

本業務の実施にあたり、公募型プロポーザル方式による業者選定を実施したところ、3社からの参加申請がありました。このうち1社は、企画提案書が期限内に届かなかったため失格とし、残りの2社による書類審査とプレゼンテーション審査を実施いたしました。

その結果、業務実績や企画提案内容、コスト面などを総合的に評価し、株式会社内田洋行を受注予定者として決定いたしました。株式会社内田洋行は、本

市が既存で導入しております校務支援システム「デジタル校務」の開発企業であり、さらに令和3年度にはICT支援業務委託の契約先でもあったことから、本市の学校のICT状況等を熟知した企業であります。

現在、令和8年3月1日のシステム稼働開始に向けて、ICT担当を中心に同社と毎週約4時間の定例打ち合わせを実施し、具体的な準備を進めているところでございます。

今回の主な業務内容といたしましては、校務用端末にMacBookを導入すること、生成AIの導入、そしてアカウント管理業務の委託など、教員の働き方改革に直結する施策となります。システムや端末操作などで学校現場が混乱することのないよう、事前に十分な内容の研修会を実施するなど、円滑な業務移行を行ってまいります。

## 7. 教育長閉会宣言